

産業制御システムをサイバー攻撃から守る国際規格「IEC62443」の認証取得をサポートする、RZ/G Linux プラットフォームのソリューションを年内に提供開始

～Linux Foundation™ の CIP™ に設立されたセキュリティワーキンググループと協業し、ユーザの認証取得期間の 6か月削減を目指して～

2019年3月26日
ルネサス エレクトロニクス株式会社

ルネサス エレクトロニクス株式会社(代表取締役社長兼 CEO:吳 文精、以下ルネサス)は、産業制御システムをサイバー攻撃から守るためにセキュリティに関する国際規格「[IEC62443-4-2](#)」の認証を、ユーザが短期間で取得できるようになる RZ/G Linux プラットフォームのセキュリティソリューションを、2019年12月末までに提供開始することを発表します。本ソリューションの対象製品は、[RZ/G2 マイクロプロセッサ\(MPU\)](#)です。本ソリューションは、RZ/G2M を対象に提供を開始し、順次他の RZ/G2 グループにも展開予定です。

現在、製造工場や、発電所などインフラ施設の産業制御システムは、サイバー攻撃を受けると、人々の生活や経済に深刻な被害が想定されることから、特に強固なセキュリティ対策が必要となる実情があります。そのため、産業制御システムに関わる全レイヤ(事業者、システムインテグレータ、機器サプライヤ)と、全プレイヤ(製造工場、化学プラント、発電所、スマートグリッド、交通などの、産業／公共インフラ事業に関わる企業や団体)をカバーするセキュリティの国際規格「IEC62443」の制定が進められています。この規格の中でも、センサや PLC(Programmable Logic Controller)などエンドポイントの機器は、「IEC62443-4」の認証が必要になります。この認証を取得するためには、難解な規格を解釈した上で、認証に対応するソフトウェアや認証取得に必要なドキュメント類を用意し、独特なノウハウを加えた検証までを実施する必要があり、これらの開発負荷が課題となります。この動向に対しルネサスは、ユーザが早期に認証を取得できるよう、IEC62443-4 に対応した産業向けセキュリティソリューションを開発、提供していくことにしました。

IEC62443-4 には、開発プロセスの準拠性についての規格「IEC62443-4-1」と機器自体の技術準拠性についての規格「IEC62443-4-2」があります。ルネサスは現在、Linux Foundation の [CIP\(Civil Infrastructure Platform™\)](#) に新たに設立されたセキュリティワーキングを通して、IEC62443-4-2 に準拠するセキュアな OSS(Open Source Software)の開発、OSS を用いた際のセキュリティ機能とアプリケーション実装のガイドラインの策定、さらに IEC62443-4-2 の認証取得に必要なテスト手順やテスト環境の構築に貢献しています。

一方ルネサスは、産業分野の組み込み機器に向けて [RZ/G Linux プラットフォーム](#)を提供しており、RZ/G MPU に加えて、超長期サポートを保証する動作検証済みの Linux Package などをワンストップで用意しています。ルネサスは、この RZ/G Linux プラットフォームを IEC62443-4-2 認証取得に最適な開発環境として提供できるよう、必要なソフトウェアとドキュメントをセキュリティソリューションとして用意します。CIP での活動の成果物と、ルネサスが提供する RZ/G Linux プラットフォームを合わせたセキュリティソリューションにより、ユーザが IEC62443-4-2 の認証取得にかかる期間を最大で 6 か月削減することを目指します。

CIP Governing Board Chairmanで、**Siemens AG** の**Smart Embedded Systems, Head**であるUrs Gleim氏は次のように述べています。「CIPは、OSSの普及推進によるセキュアな社会インフラの実現を目指しており、産業界も注目するIEC62443-4への対応を重要視しております。ルネサスがセキュリティワーキンググループをリードすることによって、産業機器におけるOSSの普及が進み、セキュアなスマートファクトリとインフラストラクチャの実現に貢献できると確信しています。」

ルネサスのインダストリアルソリューション事業本部、エンタープライズ・インフラ・ソリューション事業部の事業部長、加藤 茂樹は次のように述べています。「2019年2月末に、IEC 62443-4-2のインターナショナルスタンダード版が正式に発効されました。このIEC 62443の重要性がますます高まることに対し、ルネサスはいちはやく認証取得に向けたソリューションの提供を開始することにより、お客様のセキュリティ対策を全力でサポートします。」

ルネサスは今後も、IEC62443-4に対応したソリューションの提供をはじめ、OT分野におけるエンドポイントのインテリジェント化を強化する、セキュリティ技術や機能安全技術などの共通技術の開発にも尽力してまいります。

本ソリューションの詳細については、<https://www.renesas.com/solutions/key-technology/iot-security/infrastructure/iec-62443.html>をご覧ください。

RZ/G Linux プラットフォームの詳細については、<https://www.renesas.com/products/rzg-linux-platform.html>をご覧ください。

産業機器向けセキュリティソリューションについては、<https://www.renesas.com/jp/ja/solutions/industrial-automation/security.html>をご覧ください。

以上

*Linux Foundation、CIP、Civil Infrastructure Platformは、The Linux Foundationの米国およびその他各国における商標または登録商標です。本リリース中の製品名やサービス名は全てそれぞれの所有者に属する商標または登録商標です。

<この発表に関する報道関係からの問い合わせ先>

ルネサス エレクトロニクス株式会社
コーポレートコミュニケーション部 荒川
電話 03-6773-3001(広報直通)
E-mail pr@renesas.com